



園だより かけはし

キッドワールドこども園

令和8年7月1日

6月20日(土)1歳児・3歳児、6月27日(土)0歳児・2歳児・4歳児の保育参観に参加していただきありがとうございました。朝の集まりや歌、活動の様子など、普段は見ることのできない子どもたちの姿をご覧いただき、成長を感じていただけたことと思います。

7月からは、子どもたちが楽しみにしているプール遊びや水遊びが始まります。プール遊びをはじめ、泥んこ遊びや泡遊び、色水遊びなど、夏ならではの遊びをたくさん取り入れていきます。

「楽しかった!」「またやりたい!」という気持ちを大切にしながら、さまざまな遊びや発見を通して、子どもたちの豊かな感性や表現力を育てていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

行事予定

日	曜日	園児に関すること
1	水	プール開き
2	木	身体計測(3歳児・5歳児)
3	金	身体計測(2歳児・4歳児)、弁当日
4	土	保育参観(5歳児)
7	火	七夕集会
8	水	身体計測(1歳児 Aクラス)
9	木	身体計測(1歳児 Bクラス)
14	火	避難訓練(火災)
16	木	健康診断、身体計測(0歳児)
23	木	誕生会

お知らせ

- ※ 6月の保育料、給食費、延長料金等の支払い日は、7月10日(金)となります。
- ※ 7月の弁当日は、3日(金)です。子どもさんが楽しみにしています。忘れないようにお持ちください。



● ルクミーでの欠席連絡について

日頃よりルクミーを通じて欠席連絡にご協力いただきありがとうございます。

土曜日につきましても、お休みされる場合は、平日と同様にルクミーアプリより欠席連絡をお願いいたします。また、お子さまの健康状態を把握するため、欠席理由や体調についてもご入力いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

● 降園時について

降園後に園庭で長時間過ごされる姿が見られます。お子さまにとって楽しい時間ではありますが、安全管理や職員配置、また他のご家庭のお迎えへの配慮のため、降園後は、速やかにお帰りいただきますようお願いいたします。

お子さまが、遊びを切り上げることが難しい場合は、「また明日遊ぼうね」「続きは今度のお楽しみにしようね」などと声かけいただき、気持ちの切り替えを促していただけますと幸いです。また、お帰りの際には、安全のため必ずお子さまと手を繋ぎいで歩いていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

子どもが望む大人の世界⑨ ～17の子どもの願い～

キッドワールドこども園総合園長 牧野 桂一

前回までに紹介しきれなかった⑮番目にあたる「ユーモアに富んだ保護者になる」の項目以下について、今回も同じように紹介していきたいと思います。

早速ですが、今回は、⑮番目にあたる「ユーモアに富んだ保護者になる」ということから始めていきたいと思います。

最初に、子育てにおける「ユーモア」ということについて考えていきますが、子育てにおける「ユーモア」というのは、単にその場をなごませるということだけではなく、子どもの心の成長や親子関係の構築に非常に重要な役割を果たしています。ユーモアを理解し、日常的にユーモアを交えて触れ合うことは、子どもの脳の発達と認知の柔軟性を刺激します。心理学や教育学の視点からみてもこのユーモアには、様々な素晴らしい効果があるということが言わせていますので、それらのことについて紹介していきたいと思います。

まず一つ目は、親子の愛着（アタッチメント）を深めることです。親子で一緒に笑う時間は、子どもに「自分は大切にされている」「ここは安心できる場所だ」という気持ちを育てます。このような安心感は、子どもの心の土台となり、親子の信頼関係をより深めていきます。

二つ目は、気持ちを切り替える力が育つことです。

子育てでは、思い通りにいかず、親子ともにイライラしてしまうことがあります。そんな時、少し遊び心を取り入れることで、その場の緊張が和らぐことがあります。

例えば、おもちゃを片付けない子どもに「早く片付けなさい!」と言う代わりに、「おもちゃさんがお家に帰りたいて泣いているよ。」と声を掛けてみると、子どもも楽しみながら片付けに取り組めることがあります。このような関わりは、子どもが気持ちを切り替える力や、前向きに考える力を育てることにもつながります。

三つ目は、考える力や言葉の力が育つことです。言葉遊びやダジャレ、言い間違いなどを一緒に楽しむことは、子どもの言葉の理解や発想力を豊かにします。「思っていたことと違う!」という驚きや面白さを経験することで、物事をさまざまな角度から考える柔軟な思考力も育まれていきます。

四つ目は、社会性や思いやりの心が育つことです。

「どうしたら相手が笑顔になるかな」「こんなことをしたら嫌な気持ちになるかな」と考える経験は、相手の気持ちを理解する力につながります。友達と笑顔を共有する経験は、これからの集団生活や人との関わりの中でも大きな力となります。

最後に、ユーモアを子育てに取り入れる上で大切なことがあります。それは、親子の信頼関係が土台にあることです。子どもの冗談やちょっとしたいたずらに、親も一緒に笑って楽しむ時間は、子どもの自己肯定感を育てます。親がいつも完璧である必要はありません。時には少し肩の力を抜いて、一緒に笑い合うことも、子どもの心には深く残ります。

一方で、子どもの人格や失敗をからかったり、皮肉を言ったりすることはユーモアではありません。子どもを傷つけ、親子の信頼関係を損なうことにもつながります。毎日の生活の中で、ぜひ笑顔や笑い声があふれる時間を大切にしてみてください。ユーモアは、子育てをより温かく、豊かなものにしてくれる大切な力です。

今回もまた、紙面の都合で紹介しようと思っていた項目を全て紹介することはできませんでしたので、次に回させていただきます。次回は、⑯子どもの名前をいっぱい呼んであげる ⑰人として美しい親になるなどについて紹介していきたいと思います。